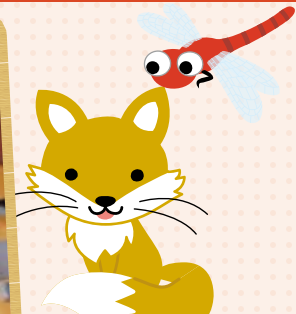


みらい



秋の記録会の様子です。天候にも恵まれ、白熱した勝負が繰り広げられました。



この2枚の写真は日中活動の様子です。健康と身体機能の維持、生活リズムの構築、情緒の安定を目的とし、支援員によるヨガ体操やパラバルーンを用いた全身運動等、様々な活動を行っています。



屋外活動の一環として玄関前にある花壇の花植えを行いました。綺麗な花でいっぱいになり玄関前が華やかになりました。



東洋学園成人部 施設長
佐々木 雅弘 (児童部施設長兼務)

利用者の平均年齢が35才となり健康への不安が出始める年齢に差し掛かり普段の生活をいかに軽やかな状態で生活するかが課題となっています。

生活リハビリ型日中活動においては、日々をリズムカルにしようと理学療法士による理学リハビリ、微細運動(ちぎり絵や折り紙を使っての季節の展示物)から軽運動(外部事業所による体操、ボール遊び)と個別週間メニューを生活に取り入れ行っています。また、本人の嗜好に合わせた社会支援(市内での買い物、マクドナルドや人気店の食事)活動が一番楽しみにしているのかもしれませんが、今年度は、県内小旅行を計画し「ワクワクした気持ち」と、とにかく普段の活動から体を動かし、直営給食による食事メニュー、お決まりの毎週金曜日にカレーライスの夕ご飯と日常生活から創意工夫を凝らし「心身ともに健康な生活ライフ」でこれからも穏やかに健康生活が送れるよう支援を提供していきます。



のびっこらんど美山
所長 山田典子



10/12(土)田村市船引町の片曾根山に登りました

現在は83名のお子さんが通所しております。

毎日、元気に登園すると、「今日の課題は何やるの?」「ねえ、先生、聞いて!」と言って、学校での出来事を振り返りで聞くのが楽しくて、いつの間にか今日は何を話してくれるのかな・・・と心待ちにしています。子どもたちの屈託のない笑顔に励まされることが、今、一番の元気の源です。

『好きこそものの上手なれ』ということわざのように、子どもたちの「好き」を、もっとたくさん見つけて、尊重し私たちスタッフが出来ることを考えて、褒めて伸び伸びと育てていきたいです。

また地域に根差した事業所として、今後もっと多くの皆さまに「のびっこらんど」を知って頂けるよう、関係機関との繋がり、お子さま、ご家族さまとのコミュニケーションを大切に、信頼関係を築き理解を深めていくよう努めてまいりますので、今後共ご指導、ご協力をお願い致します。



山登りハイキングで山頂を目指して

◎障がい福祉サービス種別による施設・事業所紹介



障がい者入所支援施設

東洋学園成人部

いわき市(四倉町)

秋の制作活動

10月3日(木)ハロウィンに向けて、日中活動で制作を行いました。

「かぼちゃだ!」「出来上がりが楽しみだね♪」「他に何作る?」と会話を楽しみながら活動しました。秋の果物、ぶどうや柿にきのこ、焼き芋など食欲の秋を感じさせるワードも飛び交い食べ物のお話で会話が弾みました。次回の制作活動も楽しみです。



障がい福祉サービス種別による施設・事業所紹介

東洋健生園 いわき市(内郷)

日帰り旅行第1班(し)!!

日帰り旅行として、9月24日(火)バスでお菓子の城那須ハートランドと那須高原りんどう湖ファミリー牧場へ行きました!

まずハートランドでは、お昼ご飯にかにや筍、鶏肉や海老など具沢山のわっぱ飯を食べました!さらに御用邸の月もついており豪華で美味しいお昼ご飯で利用者もとてもお腹いっぱい大満足な様子でした。その後はファミリー牧場へ!皆大好きなソフトクリームを食べ、動物と触れ合ったり湖周辺を散歩したりして楽しい時間を過ごしました!!



東洋育成園 田村市(船引町)

美味しい物祭り

東洋育成園では、8月・9月にかけて食べ物の行事が沢山ありました☆
まず、8月に「豚丼・かき氷の日」と言うことで、キッチンカー【豚壺】さんに来ていただき、美味しい豚丼をその場で料理してもらって食べました!午後のおやつにはみんなでかき氷を作って食べました。9月には「たこ焼きの日」があり、生地からたこ焼きを作りました☆毎年恒例の行事なので、皆さん上手に丸いたこ焼きを作る事が出来ました♡



あぶくま更生園 田村市(船引町)

美味しいデザート😊

9月19日(木)にデザート支援を行いました。女子はハーゲンダッツ、男子はケーキを食べました!ケーキは、モンブランとマスカットがあり秋らしいですね。アイスもたくさんの種類の中から好きな味を選びました。たまに食べるケーキやアイスに皆さん満足そう。ニコニコ笑顔でおいしそうに食べました。次のデザート支援も楽しみです。



原町共生授産園 南相馬市(原町区)

かき氷で残暑を乗り切ろう!

9月5日(木)のおやつはかき氷! 活動を頑張った後のかき氷は別格! 五臓六腑に染み渡りましたね! 今年とはとにかく残暑が厳しく、冷たいものが食べた〜いと思う日が多かったですね。授産園の夏恒例行事、今年もみんなでおいしく楽しい時間を過ごせました☆



そうま楽憩園 相馬市(赤木)

利用者旅行 in 関上!

9月17日(火)に利用者旅行第1班が名取市にあるサイクルスポーツセンターと仙台空港に行ってきました。絶好の旅行日和で、抜けるような青空の下、サイクルスポーツセンターではロードバイクで約4キロある敷地内を何周も風を切って楽しむ方、おもしろ自転車ではハンドルを握る人、漕ぐ人が協力して前進!トラックを走破しました。昼食は施設内にある港食堂HACHIさんにて喫食。関上らしくしらす丼があり、初めて食べた!美味しかった!との感想も聞かれました。次の目的地、仙台空港では飛行機を見送ったり、自分に、家族にとお土産を買ったりして満喫。大満足の日でした。

旅行はこれから第2班、第3班とありますのでホームページの到着情報もお楽しみに!



福祉型障がい児入所施設

東洋学園児童部

いわき市(四倉町)

毎日の外出は大切な経験です。

9月28日(土)に、外出して美容室での散髪を行ないました。普段は美容師さんに施設に来てもらっていますが、自立活動の一環として美容室での散髪を行なっている利用者さんもあります。外出先で人とコミュニケーションをとったり、自分で買い物の支払いをしたり、飲食店でお昼ご飯を食べたり…と毎回小さな経験の積み重ねですが、それらは確実に成長や楽しみへとつながっています。職員一同、今後も利用者さんの希望と目的に寄り添いながら外出を企画していきたいと思っております。これからも色々な経験ができますように!



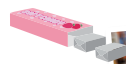
障がい児通所支援事業所

のびっこらんど

いわき市(久之浜町)

お買い物体験

9月21日(土)に、お買い物体験をしました。交通ルール等を確認し、いざ出発!決められた金額内でどんなお菓子を買おうか悩みながら店内の商品を見ていました。お会計する前には電卓で何円になるか計算し、「あと〇〇円買える!」と楽しそうに話をしながら買い物をしていました。お金を渡したり商品を受け取る際はお店の人にしっかりとお礼を伝えることができていました。また行こうね(^-^)



のびっこらんど悠悠

いわき市(平)

『発達が気になる子の社会性支援』の研修を受講しました。

9月3日(火)、いわき・相馬地区ののびっこらんど合同で、療育スタッフの研修会を行いました。今回は臨床心理士・公認心理士の石川恭子先生をお招きし、『発達が気になる子の社会性支援』について、御講義いただきました。神経発達症を脳機能の観点から学び直し、改めて、生活習慣(食事、睡眠、運動など)と環境(身近な大人から褒められる)という土台をしっかりと固めることの重要性を再認識することができました。今後、療育に携わっていく中で、子どもたちが青年期になるまでに少しずつ自己理解や特性を受容できるよう、本人たちの持つ不安や困り感を軽減できるような支援を行ってきたいと思います。



のびっこらんど泉

いわき市(泉町)

マックに行こう

8月3日(土)、みんなでマクドナルドに行ってお買い物体験をしました。事前に何を買うのか決めて、メニュー表に丸を付けてから向かいました。マックに着いてからは注文をするために順番に並びました。自分の番が来るのを待っている子どもたちの顔は少し緊張した様子でした。しかし、自分の番がくると自分の言葉で一生懸命注文する姿が見られました。自分で注文した商品を食べる子どもたちはみんな笑顔でした。自分の言葉で伝え、大事に持ってきたお金を払い、欲しいものを得られる経験は大切なものだと思えました。



のびっこらんど美山

田村市(船引町)

フレンチトースト作り

9月28日(土)にのびっこクラブで調理実習を行いました!今回作ったのはフレンチトースト!スーパーカップで作るフレンチトーストで、簡単にとっても美味しく出来上がりました。フライ返しを初めて使うお子さんもいましたが、上手にひっくり返すことが出来ました!



のびっこらんど田村 田村市(船引町)

季節の壁面製作

9月30日(月)集団課題として壁面製作を行いました。子どもたちが見本をみるなり「どんぐり!」「まつぼっくり!!」と話す姿ありましたが、今回は『栗』の壁面製作でした(;´∀`)
 午前チームはクレヨンで顔をかいて、かわいらしい栗のでき上がり。午後チームはハサミを使って緑の用紙をチョキチョキ×クレヨンや色鉛筆を使って目の大きなかわいい栗を作っていました。
 季節の壁面製作課題は毎月1回行っています。道具の使い方の確認を行いながら支援しています。



たむら地方児童発達支援センター 田村市(船引町)

ガストへ行く

9月16日(月)、23日(月)に外出訓練を行いました。皆でガストへ行き、事前に決めていた食べたいメニューを、一人一人タッチパネルを操作して注文しました。注文した料理が届くと、お友達と一緒に楽しく食べる事が出来ました!また、食べ終わった後はセルフレジでお会計をしました。必要な金額を出し、上手にお会計を済ませることが出来ました。「料理がおいしかった!」「皆と一緒に食べられて良かった」等の感想が聞かれ、皆それぞれ楽しい時間を過ごせたようです。



のびっこらんど三春 田村郡(三春町)

もしもに備えて

9月の防災月間にちなみ、防災訓練を行いました。地震が来たという想定でテーブルの下に潜った後、玄関まで逃げました。今回は、本物の消火器を持ってもらい、使い方も学びました。地震や火災は起きないことが第一ですが、今後も万が一に備えて定期的に訓練していきます。



のびっこらんど愛愛 南相馬市(原町区)

親子あそび&保護者交流会

9月14日(土)に年中さんと年少さんを対象に親子あそびを行いました。まずは親子で触れ合いあそびをしました。「いっぽんばし」「バスにのって」で緊張もほぐれてきて、「スクーフあそび」では、ヒラヒラやフワフワの感覚を楽しみました。最後は「紙風あそび」。ちぎったお花紙をうちわでパタパタあおいで、たくさんの紙吹雪に子どもたちは大喜び!
 親子あそびの後は保護者さん向けにミニ講座を行い、子育てについて自由に話をする時間を設けました。その間、子どもたちもおやつを食べてたくさん遊んで大満足!楽しい時間を過ごせました。



のびっこらんど原町 南相馬市(原町区)

参観日

9月28日(土)に利用して間もないお子さんを対象に療育参観を行いました。実際に療育の流れやお勉強の教材などを見てもらい、普段と違うお子さんの姿に気づいたりご家庭での関わりのヒントになれば...と考えて企画しました。保護者さん同士で子育ての「あるある」など自由にお話しする時間も設け、気付いたらあつという間にお帰りの時間。お子さんのお話は尽きないものですね。また時期みて開催したいと思います。



のびっくらんど相馬 相馬市(中村)

エプロンシアター

9月1日(日)、エプロンシアターで交通ルールについて勉強しました。3匹のこぶたが公園に遊びに行くお話でしたが、途中でおおかみが登場してハラハラしつつも、「ブタの匂いがするな」というセリフを聞いてみんな大笑い。交通ルールを守って横断歩道を渡り無事に公園に到着すると、子どもたちの中から自然と拍手が湧き起こりました。楽しみながらも集中して勉強することができました!



のびっくらんどキララ 相馬市(赤木)

夏の終わりに…

9月14日(土)に、カレーパーティー&ミニ花火大会を行いました。夕方の開催でしたが、16家族45名の親子が参加して、皆でカレーライスを食べたり、手持ち花火や噴射花火、お菓子釣りをして楽しい時間を過ごしました(^^)☆保護者さんやヨーヨーをもらって帰る子どもたちから、「カレーとてもおいしかったです」「楽しかった～」「おかしたくさん取ったよ」とたくさん声を掛けていただき、とってもいい思い出になりましたね♪



就労支援事業所・多機能型事業所

せきれい いわき市(四倉町)

「夏・秋のお誕生日会」

9月3日(火)、7月・8月・9月・10月生まれの利用者さん、7名のお誕生日をお祝いしました。今回はショートケーキ、チョコレートケーキ、チーズケーキの中から各々に好きなケーキを選び、皆さん美味しそうに食べていました。

お誕生日の利用者さんには、「おめでとう!」と沢山のお祝いの言葉がかけられ、とても嬉しそうなお様子でした。皆さん、素敵な一年を過ごしてくださいね!



おおくま共生園 田村市(船引町)

キッチンカーがやってきた!

9月11日(水)、豚井のキッチンカーがおおくま共生園にやってきました。いい匂いで作業に集中できない人が何人もいました。秘伝のタレをまったらお肉が絶品で、また食べたくなる味でした。クリーニングのお仕事頑張っていれば来年もきっと食べられるかな?豚井屋さん、また、来てね!



多機能型事業所 田村 田村市(船引町)

「スポーツの秋(^)/」

9月28日(土)、田村市障がい者スポーツ大会が行われました。田村からは、14名が参加しフライングディスクとポッチャ競技に挑戦しました♪ 体験コーナーでは、卓球バレーがあり、誰でも出来る競技なので楽しく参加できました。優勝は逃してしまっただけ来年は優勝を目指して頑張ります。(*^-^*)



ワークスペース・アシスト 南相馬市(原町区)

トランプ大会開催!

9月28日(土)気分転換にみんなでトランプゲームのババ抜きをしました。
 ババ抜きアシスト最弱王と最強王を決める為、皆ガチの戦い!!
 ババが自分に来ると…顔がニヤけてしまう人・つい声が出てしまう人それぞれ(笑)
 無表情で頑張っている、周囲の観戦者が爆笑してババを抜いたのがバレてしまう。
 皆ですごく盛り上がってババ抜きができました。



地域生活支援事業所

相談支援田村事業所 田村市(船引町)

担当者会議の進め方

田村地域では、毎月「田村地方相談支援専門員連絡会」の中で勉強会を行っています。

8月は、事例検討会を行いました。対象事例を検討することで、その状況を理解し、より効果的な対応を導き出すことができます。又、その人がその人らしく豊かな生活、継続的な支援を実現するために相談支援専門員として常に向上心を持ち日々努力しています。



田村地方基幹相談支援センター 田村市(船引町)

令和6年度県中地域精神障がい者地域移行・定着における事例検討会

9月10日(火)、田村市役所多目的ホールにて「令和6年度県中地域精神障がい者地域移行・定着における事例検討会」を開催いたしました。

田村地方では、精神科病院に1年以上入院している方が現在55名、うち、医療上入院の必要性がないが入院が続いているという方が13名いるという現状があります。

今回は県中圏域精神部会にも包括ワーキンググループと共催し、そうした医療の必要性のない方が地域に戻り安心して暮らすためには、それぞれの立場で何ができるか、地域の強みや課題は何かを、精神科病院に入院されている方の事例をもとに考える研修を実施いたしました。医療関係者や障害者施設職員、保健師など様々な立場の方が参加し、入院が長期にわたっている方などが地域に戻り安心して過ごせるよう、意見を交わしました。



相双障害者就業・生活支援センター 南相馬市(原町区)

第2回在職者交流会

9月28日(土)支援センターに5名の在職者が参加してアイスブレイクを行いました。「実は〇〇です」と少し変わった自己紹介や他己紹介を通して、参加者同士が共通点を見つけながらリラックスした雰囲気の中で交流を深めました。また、今の職場を選んだ理由や長く働くための秘訣についても活発な意見交換が行われ有意義な時間となりました。



相談支援相馬事業所 南相馬市(原町区)

地域の保育士さんに向けた研修を行いました!

8月10日(土)、福島県保育協議会相双支部保育士部会から依頼を受けて『心と体を大切にする包括的性教育』をテーマにお話をしました。お子さんの発達を身近で支えるたくさんの方と共に学ぶ事が出来、とても有意義な時間になりました。



のびっこらんどキララ 所長 大塚 清美



のびっこらんどキララは相馬市街から少し離れた自然豊かな場所にあり、隣には昨年オープンした「そうま楽憩園」があります。裏山の遊歩道や東屋では、虫の声や鳥の鳴き声、風の音など五感を感じることができます。感覚遊びができる手づくりの砂場もあり、充実した環境が整っています。子どもたちにとっては、勉強のあとの楽しみの一つになっているようです。

行事では、電車での社会訓練や買い物訓練、お食事会、今年の夏には花火大会も行いました。秋には芋煮会も予定しています。活動の中で子どもたちは自分らしく、楽しく過ごしています。皆さんぜひのびっこらんどキララにお立ち寄りください。



●新採用職員から6か月経過しての思い、今後に向けた抱負

今年4月に「新」社会人となった8名の職員の中から入所施設の直接処遇職員として勤務している4名の方のコメントです。新鮮です!!

東洋学園児童部 保育士 海藤 優



入社してから半年がたち、今は担当児2名を任せ毎日楽しく勤務しています。4月当初は仕事内容や子どもたちの名前を覚えることで精一杯でした。そんな中でもコミュニケーションを図ることが難しく感じました。ジェスチャーやイラスト等非言語のコミュニケーションを通して伝える、伝わる楽しさを感じてもらえるよう支援しています。子どもたちのちょっとした成長や、意思疎通できた時とてもうれしく感じます。

今後は、より専門的な知識を深め、子どもたちの成長を身近で感じながら、ニーズに合わせた支援を行っていききたいと思います。

東洋健生園 支援員 伊藤 光桜



東洋健生園に入社した当初は、業務の進め方や利用者さんとの関わり方について不安でいっぱいでしたが、先輩職員の方々から優しく丁寧な様々なことを教えていただき、あっという間に半年が過ぎました。まだまだ勉強不足だと痛感する日々ではありますが、初心を忘れず常に日々の仕事を振り返り見つめ直すことで、更に良い支援に繋がっていきたいです。

今後は、今まで学んだ知識等を忘れず更に学びを深め、利用者さんが「この施設でより『楽しい』」と思ってもらえるような支援をしていきたいです。

東洋育成園 支援員 森合 隼



東洋育成園に入社して6カ月が過ぎ、先輩方に指導や助言をして頂きながら業務の流れや利用者さんとの関わり方について少しずつ理解が深まってきていると思います。日々、利用者さんと関わる中で自分の知識不足や支援の難しさを感じました。また、さまざまな行事を行なう中で利用者さんの笑顔が見れた時や、普段は見れない表情を見られたことが印象に残っています。

今後は、介護技術の上達や利用者さん一人一人の理解を深め、一人一人に合ったより良い支援が出来るように精進していききたいと思います。

原町共生授産園 支援員 佐藤 裕介



入所施設の職員として、利用者が日々楽しく生活を送れるように、自分には何が出来るのかと試行錯誤を繰り返しながら、日々の業務に追われていたら半年過ぎていました。手探りでやらなくてはならないこともあり、不安を拭き去ることはできませんが、自分の支援で利用者が笑顔になるのを見るのはたまらなく嬉しいです。この半年を振り返ると、反省すべきことは多いですが、一つ一つ修正し、今後の支援や業務に活かしていこうと思います。

まだまだ未熟ですが、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

＜入職者＞

東洋学園児童部 看護師 白 岩 美 和

のびっこらんど悠悠 保育士 鈴木 裕美子

相談支援田村事業所 相談員補 佐久間 絵 美

東洋育成園 支援員 小林 正 和



▽広報誌としては令和6年の最終号になります。今年もいろいろなことがありました。新型コロナ感染は報道などで目に触れる機会は少なくなりましたが、施設・事業所単位では感染防止対策を含め生活面での制限の継続が必要ですのでご理解ください。

▽そのような中5月22日に法人設立60年を迎えました。記念誌「福祉の里」を発行しましたので、今までの歩み、これからの展開などご覧くださると幸いです。

新たな60年に向かって引き続き努力してまいりますので、ご支援・ご協力をお願いします。

▽新年・令和7年が幸多い年になりますように!!